



おやっとさあ

編集・発行
垂水市立介護老人保健施設
コスモス苑
TEL 0994-32-5200
FAX 0994-32-5280
E-mail:kosmosuen@po.city.tarumizu.kagoshima.jp
VOL.23



コスモス苑の歩み

昭和61年、人口の急激な高齢化と慢性疾患等に伴い、看護や介護を必要とする寝たきり高齢者等の増加に対処するため、全国に老人保健施設を整備すべく老人福祉法が改正されました。

その後、垂水市においても高齢化が徐々に加速し、平成7年には垂水市の高齢化は、全国平均(15%)を上回る27・6%まで進み、急速な高齢化対策として老人保健施設が求められ、平成7～8年の2か年事業により介護老人保健施設コスモス苑が平成8年12月に建設されました。

コスモス苑の管理運営については、私ども肝属郡医師会が垂水市より委託されるという公設民営方式が採用され、平成9年4月1日コスモス苑が開設されることとなりました。

私ども職員はコスモス苑の開設時より、市内唯一の介護老人保健施設として、地域の介護を必要とする高齢者の方々に快適に安心して療養生活を送っていただける施設となることを念頭に、職員各位それぞれ切磋琢磨しながら事業を展開してまいりました。

そして今日まで、大過なく16年目を迎えることができました事は、これまで多くの皆様からの暖かい

事務長 水迫 暁

御支援を糧として、職員各位がより良い施設づくりを目指して奮闘努力してきた成果であると感じております。

コスモス苑の開設当初38名でスタートした職員は、今年2月1日現在77名と2倍に増員され、利用者様にさらなる安心・安全なサービスを提供できる体制が確立できていたものと思っています。

今後、垂水市における少子高齢化はさらに継続していくものと推察され、介護を必要とされる方々にとって、コスモス苑の存在価値はますます重要性を増すものと考えています。

今、医療や福祉分野を取り巻く社会情勢は常に変動しており、将来の展望が見えにくい状況下となつていますが、介護を必要とされる方々をお預かりし、日々のお世話をさせていただく介護老人保健施設の目的に変動はありません。

私ども職員一同はこれまでも、そしてこれからも利用者の皆様から喜んでご利用いただける施設づくり【利用者様の尊厳を守り、向上心を以て明るく家庭的な施設を目指す】を理念として邁進し、コスモス苑が今後も地域の皆様から認められる存在であり続けることを目指してまいります。

介護教室「食事形態について介護教室の開催」



12月5日に「食事形態について」当苑の管理栄養士が利用者様の家族に対し、家庭のお食事を食べやすい形や固さに調理する方法を説明しました。今回、多くの家族の方が参加され、メモをとったり質問をされていました。今後もコスモス苑では介護教室を計画しておりますので、ご家族様の参加をスタッフ一同心よりお待ちしております。

各フロアの紹介

リハビリテーション



コスモス苑で行うリハビリテーションは、病気やケガの直後に行う急性期のリハビリを終え、維持期のリハビリテーションを必要としている要支援・要介護者が対象となります。

具体的には

- ①病院を退院したけれど、自宅で生活するのにまだ少し不安がある。
- ②脳血管障害の後遺症や、膝の痛み等身体機能に障害があり、歩行が困難になっている。
- ③家に閉じこもることにより、体力が低下し日常生活動作が困難になってきた。
- ④認知症により理解力・判断力が低下しているため在宅での生活が難しい。

などの状態の方々に対し、在宅生活を想定した運動療法や作業療法を行っています。

利用者様一人ひとりの状態に合わせて、在宅生活が継続できるよう支援していく為どのようにしたら良いのかをスタッフ間で意見交換しながら「楽に立てるようになった」「トイレに行きやすくなった」「家事が楽にできるようになった」などといった利用者様の嬉しい声を聞けるように、ファイトマン斎藤を筆頭に一生懸命頑張っていく所存です。

今後ともリハビリ室スタッフ一同をよろしくお願ひ致します。

栄養科



私たち栄養科は管理栄養士 1 名、栄養士 2 名（うち非常勤 1 名）、調理師 2 名、調理員 8 名（うち非常勤 7 名）で業務を行っています。

平成 17 年 10 月の介護保険制度改正により「栄養ケア・マネジメント」が導入されたのを受け、利用者様おひとりおひとりの好みや心身の状態に合う具体的な計画を立てて栄養を管理させていただいております。調理場におきましては「身内になったつもりで利用者様に喜んで頂ける食事提供」をモットーに、療養食やさまざまな形態（常食・軟菜・刻み食・ミキサー食・ムース食など）や嗜好などに対応しています。

これからも利用者様が食べる楽しみをいつまでも持ち続けていただけるよう、スタッフ一同努力してまいります。

事務部



私たち事務部は事務員 5 名（うち非常勤 3 名）相談支援員 2 名、介護支援専門員 2 名の寄り合い所帯となっております。

一般事務の仕事は施設の運営に直接かかること（利用料の計算や業者への支払いなど）のほか、コスモス苑の開設者である垂水市への業務報告や管理母体の肝属郡医師会の運営にかかる事務を執っています。また専門的な事務員として介護老人保健施設の顔ともいふべき相談支援員が市内の各居宅介護支援事業所並びに、垂水市地域包括支援センターとの連携を図り、施設内では介護支援専門員が入所者様のケアプラン作成等、入所者様の自宅復帰に向けた支援を行っています。

居宅介護支援事業所



居宅介護支援事業所コスモス苑は、管理者兼介護支援専門員（ケアマネジャー）1 名、主任介護支援専門員 1 名、介護支援専門員 1 名の計 3 名体制（常勤）で行っております。

当事業所は、介護保険法の定めるところにより、利用者様が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じて自立した生活を営むことができるよう、利用者様に対し、適切な居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、かつ居宅サービスの提供が確保されるよう居宅サービス事業者その他の事業者、関係機関との連絡調整などの支援を行っています。

在宅生活や介護を行っている中で「困っている事や心配なこと」などございましたら、一人で悩まずにお気軽に相談ください。利用者様の立場になって一緒に考えて支援させていただきますので、よろしくお願ひします。

日本一おいしいかんぱちを頂きました



今年も垂水市漁協組合の方々より、垂水自慢のカンパチを頂きました。皆さん大変喜ばれ「はよ、食べたいなあ」「おいしそうやなあ」と待ちきれない様子でした。調理後は、「わっぜえおいしかったよ」「良かった」「うんめかったあ」と大変喜ばれていました。



門松作りボランティア



昨年同様今年も「I・I会」ボランティアの皆様にお越し頂き、新年の象徴【門松】を作成して頂きました。利用者の中には、「おお、今年も良いのが出来た」「また、来年も元気で頑張らんなあ」という声が聞かれていました。

ボランティア少年団来苑



垂水市ボランティア少年団の皆さんがコスモス苑にやってきてくださいました。一緒にゲームなどをされ、利用者様もとても楽しんでおられました。ボランティア少年団のみなさん、ありがとうございました。

利用者様作品紹介

作って楽しもう！銅版細工（コスモス編）



【特徴】 厚さの薄い銅版を鉄筆などで押しつぶしたり打ち出したりして模様を描いていくものです。当苑では表札や壁掛けの絵を作成しており、薄い鉄板を用いる事で対象者を選ばず多くの方に楽しんでいただいています。

【材料】 厚さ0.1mmの銅版、いぶし液、耐水ペーパー、仕上げ用ニス（ホームセンターで購入）身近な硬くて先が細くなっている物（鉄筆・使用済みのボールペン・ヘラ・先をつぶした釘）、カラーボード（ダイソーで購入）

【工程】

- ① 図柄を決めて銅版に移します
 - ・ カラーボードの前面を包むように銅版を貼り、それに下絵をのせてボールペンなどでなぞり型を写します。
- ② 打ち出す
 - ・ 釘など固い素材の先が細くなった物で図柄に沿って凹みをつけるように押しつぶします。
 - ・ 図柄に合わせて押しつぶし作業を繰り返し、立体的にかつ芸術的に仕上げます。
- ③ 仕上げをする
 - ・ いぶし液を用いて着色して乾燥させてから、耐水ペーパーで磨きをかけていきます。
 - ・ 仕上げたい図柄（濃淡）が完成したら、ニスを塗り完成です。

新入職員の紹介



今村 弘子
看護師
(副看護師長)

皆さんこんにちは、3月1日よりコスモス苑勤務となりました。今村 弘子です。
まだまだ分からないことも多いですが、頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。



原田 旭
(理学療法士)

H 24 年 10 月より働かせていただいております。以前は病院勤務だったので、こちらでは初めての業務ばかりで、いつもご迷惑をおかけしております。少しずつですが利用者様とも仲良くなっていて楽しく仕事をさせていただいております。今後もリハビリを含め利用者様が元気で健やかに過ごせるように取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願ひします。



鎌田 尚子
(介護福祉士)

病院より異動になり 11 月よりお世話になっております。仕事内容が違ふ為戸惑いもありますが、みなさんのように働けるように頑張りたいです。利用者様とのふれあいも大事にしたいです。よろしくお願ひします。



柳田 ゆかり
(介護士)

2 月 1 日よりこちらで働かせていただくことになりました。以前は介護とは全く関係のない仕事だったので、迷惑をかけるかもしれませんが早く仕事を覚え、職員の方や利用者様に慣れるように頑張りたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

編集後記

今回も写真を多く取り入れ、みなさんに読みやすい内容となるように心がけました。

いかがでしたでしょうか？コスモス苑の雰囲気や、活動などが皆様に伝われば幸いです。

来年度もよりよい新聞が作れるよう、スタッフ一同頑張っていきたいと思ひます

新聞部サブリーダー
上園千明

